

## プレスリリース

**DODはキャンプ中の遊びに”玉入れ”を提案します！！  
大人も必死にさせるソト遊びの新定番「キャンプタマイーレ」発売。**

弊社アウトドア用品ブランド「[DOD\(ディーオーディー\)](#)」は、2020年11月、運動会の定番競技、玉入れをキャンプで実現するバスケットと玉のセット「キャンプタマイーレ」を直営ECストア「[DOD STORE](#)」にて発売しました。  
手持ちのポールにセットするだけで、いつでもどこでも本格的な玉入れを楽しむことができるソト遊びアイテムです。



### <キャンプでの遊びの選択肢を増やす>

大人は自然の中でぼーっとするだけでも充分キャンプを楽しめますが、子どもは何かをしていないと退屈しがち。最近では他にすることがないためにキャンプでもスマートフォンが手放せなかったり、暇さえあればYouTubeを見ているというお子さまもよく見かけます。  
そこでDODでは、せっかくキャンプに来たのだからみんなで体を動かそうということで、キャンプ遊びの新定番として玉入れを提案。大人も子どもも一緒になって盛り上がることでキャンプの思い出をより楽しいものにします。

製品ページ:[https://www.dod.camp/product/bt1\\_756\\_rw/](https://www.dod.camp/product/bt1_756_rw/)

#### ■企画者のヒトコト■

我が子の笑顔が見たくてつくった製品です。同じ気持ちのお父さんお母さんに買っていただけたら幸せです。  
ちなみに、ヨクミルヤーツに収まるサイズ感で作ってます。

#### ■広報ツジのヒトコト■

10/3、4に万博記念公園で行われた「[アウトドアパーク2020](#)」で先行お披露目した際には、順番待ちができるほど大人気でひっきりなしに子どもたちが遊んでいました。初対面でもその場で声をかけあって一緒に遊ぶお子さまもおり、実際のキャンプ場での交流も期待できそうです。

### 1. コンパクト収納

バスケットのフレームを薄く設計しているのでコンパクトに収納可能。  
タープの跳ね上げなどに使用するポールを支柱として流用することで無駄な荷物を減らすことができます。



### 2. 自由に難易度調整が出来る

バスケットの取付高さを自由に変えられるため、大人でも子供でも楽しむことができます。



### 3. 大人数でもソロでも楽しめる

チーム対抗で競ったり、ひとりスティックにフリースローをしたり人数に関わらず楽しめます。



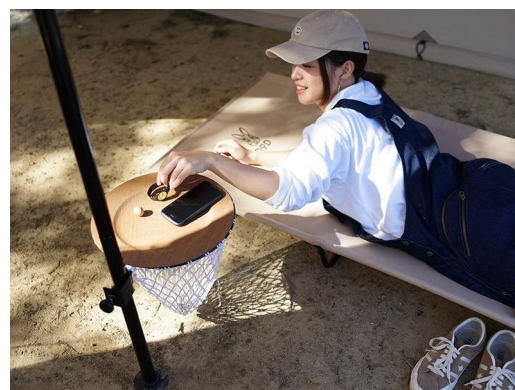
### 4. 工具無しで簡単取り付け

手でネジを締めるだけで取り付けることが可能。  
ポールとの接触面にはゴムが付いているためポールを傷つけません。



### 5. 簡易のサイドテーブルにも

直径32cm以上の丸皿を乗せればサイドテーブルとしても使用することが可能。耐荷重に注意してご使用ください。  
※静止耐荷重2kg



## ■スペック■

【ブランド名】 DOD(ディーオーディー)

【製品名】 キャンプタマイーレ

【型番・カラー】 BT1-756-RW・レッド× ホワイト

【サイズ】 バスケット:(約)W42×D31cm、ボール:(約)直径5cm

【重量(付属品含む)】 バスケット:(約)500g、ボール(1個あたり):(約)45g

【材質】 スチール、ポリエステル、合成皮革、ポリプロピレン

【静止耐荷重】 2kg

【付属品】 ボール(赤):5個、ボール(白):5個

【その他特徴】 取り付け可能ボール径:直径27~35mm

【販売価格】 5,000円(税抜)

※映画・TV プログラム・誌面づくりの撮影用小道具として、

またイベントでの使用等、製品の貸出し、プレゼント企画につきましてもお気軽にお声掛けください。

※必要な画像は製品ページよりご利用ください。

紙面掲載等で高画質画像が必要な場合は別途ご連絡ください。

なお、掲載いただける前に一度ご連絡いただくようお願いいたします。

その他質問等お気軽にお問い合わせください。

## ■お問い合わせはこちら ■

DOD担当 棚村(たなむら)、辻(つじ)

[ Tel ] 050-5306-1902(広報直通)

[ 住所 ] 大阪府東大阪市川俣1丁目14番33号

[ E-Mail ] pr@be-s.co.jp

[ お問い合わせフォーム ] [こちら](#)

※送付が不要な場合は、誠にお手数ではございますが、  
上記アドレスまで「送付不要」の旨、ご返信お願いいたします。

## DODブランドコンセプト

Stay crazy !

DODはクレイジーなアウトドアブランド。

子供みたいに圧倒的な遊び心を持ち続けることで、良い意味でクレイジーな大人を増やすことをミッションとしています。

